

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29 年 12 月 4 日			
留 学 先 大 学	グリフィス大学 (国名: オーストラリア)			
所属学部・学科等名				
在 籍 身 分	交換留学生			
留 学 期 間	平成 2016 年 2 月 14 日 ~ 平成 2016 年 10 月 20 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: ETAS			
	ビザ申請先:			
	取得方法, 提出書類: インターネットで取得しました。学生ビザを取得するときは、留学先の CoE(Confirmation-of-Enrolment)がないと申請ができませんでした。			
	手続きに要した日数: 2 週間程度			
その他必要な事前手続き				
出 国 年 月 日	平成 29 年 2 月 13 日			
経 路	東京成田~メルボルン~ゴールドコースト			
現 地 での 出 迎 え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	寮のオリエンテーション、o-week と呼ばれるウェルカムウィーク、留学生対象の説明会などがありました。			
帰 国 年 月 日	平成 29 年 10 月 20 日			
経 路	ゴールドコースト~東京成田			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	152 万	円	
	内訳	渡航費	10 万	円
		保険料	11 万	円
		教科書代(学費)	1 万	円
		宿舍費	80 万	円
		食費	30 万	円
		その他 (旅行等娯楽 費) (費) (費)	20 万	円 円 円

3. 授業について	
年 1 学期	3 月 27 日 ~ 6 月 17 日
年 2 学期	7 月 3 日 ~ 10 月 14 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	日本で言う美大や音大も一緒になった総合大学だったので、広島大学では受けることができないような授業も選択することができました。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	受けるかどうか決めきれない授業もとりあえず履修登録をして、最初の 1.2 週だけでも授業を受けてみると、どうするかが決めやすくなると思います。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (4 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1 週間当たり 233 ドル (現地通貨) 約 21000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮は友達を作るにはとてもよい環境でしたが、高すぎました。オーストラリアでの住居探しには日豪プレスというサイトを使うと良いと思います。
(2) 医療について	
1 日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院 1 日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	やはり海外の病院に1人で行くのは緊張するので、日本語でも医療が受けられるように身体が丈夫でも保険に入っておくことをおすすめします。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	風邪薬、胃薬は一応持っていくと良いと思います。私は留学中盤に急に胃の調子が悪くなり、1週間程度、胃薬に本当に助けられました。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
危険を感じた経験は特にありませんでしたが、いざというときのために携帯はきちんと常備しておくの良いかなと思います。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
現地の日本料理屋でアルバイトをしていました。実践的な英語を聞いて使って学ぶことができるので、とても良い経験になりました。機会があればぜひチャレンジしてみたいです。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 28年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	公務員試験に向けて勉強中	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	3年次に教育実習に行ってから留学に行きました。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
日豪プレス	http://nichigopress.jp/	住居などを探すことができる、とても便利なサイトです。
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
本当に一生の思い出になる貴重な1年になると思います! なんでも自分のやりたいこと、好きなことに挑戦して悔いのない留学を過ごしてください。		

学習に関するレポート

私は今まで学んだことのない分野の授業をたくさん履修しました。きっと留学を決めた人の多くはこの大学でこれを学びたいというものがあったのではないかと思います。私は留学に来てからそれがなかったことに気が付きました。パッと目について面白そうだと思った自分の興味のある授業を履修したのですが、しばしば苦勞しながらも楽しく授業を受けることができました。

その中でも特に印象に残った授業についてまとめようと思います。まずは、技術と教育やビジネスの関係を学ぶ授業です。シラバスを読んで日本で受けたことのある授業に似ていそうだと思います。履修したのですが、フタを開けるとびっくり、バーチャルクラスでした。パソコンの画面越しにレクチャーを受け、受講者は先生の質問などにチャット形式で答えていくという授業スタイルです。このチャット形式というのが結構な曲者で、一生懸命打っている途中で話が別の話題に移っていたり、他の人のコメントを読んでいる間に先生の話している言葉を聞き逃したりなど、初日は特に苦戦しました。受けたことのないような最新技術を使った授業で、とても良い経験になりました。

2つ目の授業は、**Writing Poetry** という授業です。レクチャーで詩をつくる時のテクニックを学び、チュートリアルで週に1人ずつ自分で作った詩を発表して他の受講者からアドバイスをもらうというものです。詩に出てくる単語の意味を取ったり調べたりがやっとなかなか難しかったですが、それでも毎回新しい表現や技術を学ぶことができ、自分の詩に活かすことができるととても楽しかったです。とてもフレンドリーな授業で、毎回授業に行くのがとても楽しみでした。

3つ目の授業は、社会学の授業です。**Race, Age, Culture, Class, Gender** などの身の回りにあることについて社会学の3つの考え方をを使って考え直し、ディスカッションをするというものです。最初は、ディスカッションを聞き取るのが精一杯でしたがだんだん参加できるようになっていくのがとても嬉しかったです。柔軟な考えやステレオタイプの違いに毎度驚かされました。授業後には1つのテーマに沿ってリフレクションを書くのですが、母語ではない言語でインプットしたものを母語ではない言語でアウトプットすることの難しさを痛感しました。

4つ目の授業は、**Photo Media Practice** という授業です。留学中に受けた授業の中でこの授業が一番楽しかったです。グリフィス大学は日本でいうところの音楽大学や美術大学も一緒になっている総合大学だったので、広島大学では受けることのできないような授業もいくらか選択しました。その中の1つがこの授業です。私は写真を撮ることが趣味なのですが、同じことが好きな受講生がたくさんいて、実践的な技術を学びそれを自分の写真に反映することができるのがとても嬉しかったです。普段はなかなか写真に収めようと思わないものも撮る機会があり、とてもいい思い出になりました。

これから留学に行く人にはぜひ、この授業を受けてよかった！というものを見つけてほしいと思います。一緒に授業を受けている生徒と友だちになって、ぜひ楽しい留学を送ってください。

生活に関するレポート

私は幼いころに家族と海外で生活をしていたことがあり、海外に行くことに対してそれほど抵抗はありませんでした。しかし、やはり 1 人で海外に行き生活をするとなると期待と同じくらい不安もありました。留学を終えて、生活を通して私が感じたことや学んだことをまとめたいと思います。

まず、一番印象に残っているのは文化の違いです。小さな違いから大きな違いまでたくさん発見しましたが、初対面の人達とも気さくに話す文化にはとても驚きました。日本ではなかなか知らない人と話す機会はないですし、敬語の文化があることで初対面の人と気軽に会話を楽しむという機会が少ないということに気付かされました。電車やバスで隣の席になった人やスーパーのレジの人とちょっと世間話をしたり、バスの運転手さんにお薦めの場所を聞いたり、全てが新鮮で楽しかったです。もちろん誰とも気軽に話すことができるというのは日本の文化にはない素晴らしい文化だと思います。しかし、そのオーストラリアで生活をする中で日本の良い文化も再確認することができました。よく言われるおもてなしという精神は本当に日本特有のものでし、オーストラリアの、良く言えばフレンドリー、裏を返せば少し雑なサービスや接客に物足りなさを感じることもありました。しかし、そのたびになるほど、これが文化の違いで、住む場所や気候、歴史が違えば文化もそれぞれ異なるのだなと実感することができてとてもワクワクしました。新しい国に飛び込み、その中で生活する中でやはり文化というのはそのお国柄がよく現れるものでひとつひとつに意味があり、それを比較して良し悪しをつけるのは違うなと気づくことができました。

次に、挑戦することの楽しさと尊さを強く感じました。当たり前なことのような気がしますが、いつも通りに大学生を送っているところのことを再確認することはなかなか難しかったように思います。1 人で海外に降り立った日から日本へ帰る日まで、毎日自分の意志で行動をし、自分のしたいことをすることができる貴重な期間でした。自ずと一人での時間も増えたので自分自身と向き合う機会が増えました。その中で見つけた自分が興味のあることや今まで触れたことのない新しい分野に挑戦し、多種多様な人に出会い、話をすることでまた新たな興味が生まれていくのはとてもありがたいことでした。

最後に、私が留学から帰ってきてしばらく元の生活を送り改めて思うことは、留学していた期間はきっと人生の中で一番自由でなんにでも挑戦できる楽しく夢のような時間だったということです。現在は将来のための試験勉強に日々終われ、自分の本当にしたいことにきちんと時間を割くことができていません。しかし、今私が頑張っているのはそのような羽を十分に伸ばすことができる時間があつたからだと思います。あれだけ自由に楽しんで有意義に過ごすことができたのだから、今は少し我慢して頑張る時期なのだときちんと切り替えることができました。卒業を 1 年延ばさなければいけないということを懸念し、留学を躊躇したこともありましたが、今は心の底から留学をしてよかったと思っています。もちろん楽しいことばかりではありませんでしたが、自分自身を成長させてくれたかけがえのない思い出です。





